


様式第6号(会派用)

政務活動実施報告書



平成30年3月22日

村上市議会議員 様

会派名 新政村上

代表者氏名 長谷川 孝 

当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

	代表者 確認印 	経 理 責任者 氏名印	大 滝 久 志 
用 務 名	新政村上 行政視察		
実 施 日 時	平成30年 3月19日 (月) 午前9時00分～ 平成30年 3月20日 (火) 午後5時00分		
用 務 先	福島県南会津町及び会津若松市		
参 加 議 員 名	長谷川 孝 大滝 久志 佐藤 重陽 山田 勉 木村 貞雄 本間 清人		
全 体 参 加 者 数	6 名		
概 要 及 び 所 見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙、行政視察報告のとおり		
備 考			



会派 新政村上 行政視察報告

30
日時 平成~~29~~年3月19日(月)～20日(火)

場所 目的

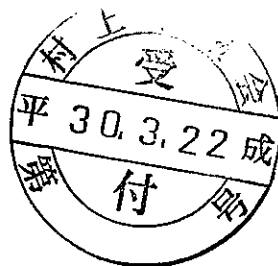
福島県南会津町
地域産材を活用した新庁舎

福島県会津若松市
県立病院跡地の利活用

参加者

本間清人 木村貞雄 佐藤重陽

大滝久志 山田 勉 長谷川 孝



1 日目 福島県南会津町 地域産材を活用した新庁舎

旧庁舎の隣接地に昨年7月新庁舎が開庁、森林に囲まれた南会津町の風土をアピールする11種類の町有林を利用した庁舎は、町民と行政の「協働のまちづくりの実践の場」を目指したコミュニティの自治を育む空間を持った新しいタイプのもので、町民ワークショップによる設計案の検討を含め町内の施工業者・各職人等の手により完成した「メイドイン南会津町」の庁舎です。

山に囲まれた南会津町、遠く離れた県庁や各支所間の会議等をテレビ会議システムを導入して活用するなど非常に参考となる行政視察でした。

2 日目 会津若松市 県立病院跡地の利活用

平成16年に県立会津総合病院と県立喜多方病院の統合が決定し、平成25年5月に「県立会津医療センター」として郊外に移転したため、県立会津総合病院跡地(約25万 hm^2)を会津若松市が県から取得することで、その跡地利活用についての取組を伺って来ました。

平成29年度の取組は、市民提案の募集、県立病院跡地利活用懇談会の開催が開催されてきました。

市民提案は応募数242件、提案数371件に上り、その内容を踏まえ若者を中心にした懇談会で意見をまとめ、「県立病院跡地利活用の方向性に関する意見書」として市長に提出したとのこと。

平成30年度の取組として、「県立病院跡地利活用基本計画」の策定に向け、市の財政負担を最小の抑えながら、意見書の内容を最大限に実現することを目標として、官民連携(PPP/PFI)の導入・実現可能性調査を含めた公募型プロポーザル方式で策定業務委託を募集していくとのこと。

将来、本市でも村上総合病院が移転した跡地の利活用策について検討されることとなります。